

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1042.50	2020/12/21
High	1056.45	2020/12/21
Low	980.60	2020/12/21
Close	1028.00	2020/12/25

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3453.00	2020/12/21
High	3514.00	2020/12/21
Low	3266.00	2020/12/21
Close	3418.00	2020/12/25

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2358.00	2020/12/21
High	2491.00	2020/12/21
Low	2299.00	2020/12/22
Close	2351.00	2020/12/25

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7830.00	2020/12/21
High	7977.00	2020/12/21
Low	7629.00	2020/12/22
Close	7812.00	2020/12/25



ニュースエクスプレス

ノリリスク・ニッケルの Global Palladium Fund、業界パートナー相手の初のトークンを発行

世界最大のパラジウム生産者であり、高純度ニッケル、プラチナ、銅でも主要生産者であるノリリスク・ニッケル社による Global Palladium Fundは、サプライチェーンを最適化し透明性を保持するデジタル取引の時代の新たな基準を設けるべく、金属取引では初のトークンを主力業界パートナー Traxys SA 社とユミコアSA社を相手に発行したと発表した。

The Global Palladium Fund は、多くの国際的投資家に支持されている Atomyze トークン化プラットフォームを用いてデジタル・インストルメントと呼ばれるトークンを発行。

Traxys SA 社とユミコアSA社は共に商品業界大手でノリリスク・ニッケル社と長年の提携業績があり、同社は、生産する金属の原産地及びトレーサビリティの確保が可能なデジタルエコシステム参入への戦略を発表していた。

<https://www.nornickel.com/news-and-media/press-releases-and-news/nornickel-s-global-palladium-fund-issues-first-tokens-to-industrial-partners/>

豪州 FMG、次世代資源として再生可能水素に注力

鉄鉱生産各社は現在、鉄鋼石の高価格で好調を期しているかもしれないが、視線は常に将来に向いている。鉄鉱石生産は長期投資サイクルであり投資家は常に「次」に何が来るのか問うているからだ。

鉄鉱石生産世界第4位オーストラリアのフォーテスキュー・メタルズ・グループは、「次」なるものをここ数年間探してきたが、その答えはずばり、再生可能水素。

パースを拠点とするフォーテスキュー・フューチャー・インダストリーは、社名が示すとおり、将来オーストラリアの主要輸出産業ともなり得る産業において主力プレーヤーになるべく先手を打っている。

同社は12月だけでも韓国の鉄鋼大手ポスコ社、川崎重工業、岩谷産業と再生可能水素生産で協力する提携を結び、オーストラリアの水素輸出先として日本と韓国を確保。

ポスコ社との提携は特にフォーテスキューの鉄鉱石の韓国最大の鉄鋼メーカーへの輸出底上げにもつながるだろう。

カーボンニュートラルに関して、大手鉄鋼企業が2050年を目標としている中、フォーテスキュー社は2040年までの達成を目指している。

<https://www.spglobal.com/platts/en/market-insights/latest-news/electric-power/122320-australias-fmg-identifies-renewable-hydrogen-as-its-whats-next>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- WPICは2020年第三四半期のレポートを11月18日に発表致しました。白金の需給が37トンの供給不足になるとの見通し。詳しくは下記をご覧ください。  
[https://platinuminvestment.com/files/786933/WPIC\\_Platinum\\_Quarterly\\_Q3\\_2020\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/786933/WPIC_Platinum_Quarterly_Q3_2020_JA.pdf)
- なぜWPICはプラチナの投資需要を総需要に算入すべきと思うの？詳しくはWPICの12月の「プラチナ展望：プラチナ現物投資はプラチナ価格決定に不可欠な要素」をご覧ください。  
[https://platinuminvestment.com/files/984436/WPIC\\_Platinum\\_Perspectives\\_December\\_2020.pdf](https://platinuminvestment.com/files/984436/WPIC_Platinum_Perspectives_December_2020.pdf)
- 2021年の中国のプラチナ宝飾品需要は13%の増加となる予測で、これは2013年以来の大幅な上昇見込みとなる。コロナ禍に苦しんだ2020年からの回復というだけでなく、2019年よりも多い28.8トンという予測には大いに注目されている。詳しくはWPICの12月9日に発表したプラチナ豆知識「プラチナの復活」をご覧ください。  
[https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC\\_60seconds\\_Platinumrenaissance\\_12092020\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60seconds_Platinumrenaissance_12092020_JA.pdf)



@wpicjapan